

東京都 新宿区 共学校

# 東京都立戸山高等学校

## School data

所在地：東京都新宿区戸山3-19-1  
 アクセス：地下鉄副都心線「西早稲田駅」徒歩1分、JR山手線ほか「高田馬場駅」徒歩13分、都営大江戸線ほか「東新宿駅」徒歩15分  
 生徒数：男子476名、女子472名  
 TEL：03-3202-4301  
 URL：<https://www.metro.ed.jp/toyama-h/>

- 3学期制
- 週5日制（年20回の土曜授業あり）
- 月～金6時限、土4時限
- 50分授業
- 1学年8クラス
- 1クラス約40名

## 自らの力を社会に役立て 他者を幸せにできるリーダーへ

探究活動を軸に「教養教育」を重視し、将来につながる力を育てる東京都立戸山高等学校。複数の国との国際交流や、医師をめざす生徒をサポートする「チーム・メディカル」など、魅力的なプログラムが用意されています。



いしざきのりお 石崎規生 校長先生

### 知識をつなぎあわせ 幅広い教養を身につける

1888年の創立から長い歴史を積み重ねてきた東京都立戸山高等学校（以下、戸山）は、自主的・創造的精神に満ち、幅広い教養を身につけたリーダーとして国際社

会に貢献できる人材の育成をめざしています。

石崎規生校長先生は「リーダーとは、自分の幸せだけを追い求めるのではなく、自らの力を役立て他者も幸せにする人でしょう。生徒たちがそれぞれの居場所であり、リーダーとしての役割を果たせる人

になることを期待します。そのためには、コミュニケーション力や相手の立場に立つて考える力、社会に貢献しようとするマインドが必要

です。さらには、幅広い学びによって培われる教養や、多くのことに取り組むなかで磨かれる豊かな人間性なども欠かせません」

と話されます。

こうした考えから戸山では「教養教育」を重視し、文理を問わずまんべんなく学習するためのカリキュラムが編成されています。授業では、各教科でグループワークが頻繁に行われている点が特徴としてあげられます。生徒が主体性

を持つて臨む、対話的な学びが実践されているのです。

また、定期的に教員全体で研修会を開き、授業展開について報告・共有するなど、教員同士の連携を図っており、教科を横断して学習内容を関連づけ、生徒の知的好奇心を刺激する工夫もなされています。体育でボール投げをする際に、物理で学んだ投射角に基づいてボールを手から離す最適な角度を考えたり、世界史で、ある出来事を取り扱った際に、美術の観点からその時代に活躍した画家に話を広げたりといった形です。

こうした学びによって多角的に物事をみる力が養われ、また習得した知識を結びつけることで、学習意欲がさらに高まることにもなるでしょう。

### 探究活動で培われる 将来に役立つ力

戸山の教養教育を最も象徴する取り組みといえるのが、探究活動です。同校は2004年度に、文

部科学省から都立高校として初となるスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に認定され、活動を続けてきました。その活動をさらに発展させるべく、2026年4月入学生からは、新たな形での探究活動が始まります。

探究活動を行う授業「知の探究」が、全生徒を対象に、高1と高2は週2コマ、高3は週1コマ設定されます。高1のはじめに全員で探究活動の方法を学んだあとは、歴史や文学、物理、数学など、分野ごとのコースに分かれて探究活動を進めます。

「探究活動は、興味あるテーマを突き詰められる、本校の学びの『自由』を表すものです。また、仲間と刺激しあえるのも魅力です。同じ分野の研究でも、設定するテーマによって、データの取り方やまとめ方は異なってきますから、コース内での交流が互いの研究をより高度なものにしていくでしょう。その分野で活躍する卒業生にもご協力を願い、ときに助



## 施設

図書館・自習室は平日20時まで開放され、放課後に自習をする生徒も少なくありません。屋上には、天文台が備えられています。



言をいただけたらと考えています。探究活動の成果は論文にまとめ、さらに学年全体や下級生に向けて発表する機会も設ける予定です」(石崎校長先生)

探究活動の一環として、「知の探究」に加え、新たに「数学探究」と「情報探究」の授業も設置されます。数学探究では様々なデータを収集、分析するデータサイエンスに、情報探究ではプログラミングなどに取り組み、スキルを磨いていきます。これらの授業も、文

系・理系といった進路にかかわらず、全員が対象です。

「探究活動を通して、教養を身につけるとともに、興味を持った事柄を深めていくにはどうすればいいのかを考える力を養ってほしいのです。長い人生を歩んでいくには、高校や大学で習得した知識だけでは十分とはいえません。つねにアップデートしていかねばならないのです。そこで求められるのが、自分に必要なものを自ら考え学んでいく力です。探究活

## 授業

授業ではプロジェクターなどのICT機器も活用されます。高1では、神奈川の城ヶ島で地形や地質について学ぶ機会があります。



地学城ヶ島巡検



発表



実験



グループワーク



ポスター発表

探究活動 国際交流

探究活動ではプレゼンテーションスキルも磨かれます。海外研修では海外の学生と交流する機会もあります。



海外研修

動はその力の土台を築いてくれるはずです」と石崎校長先生は探究活動の意義を語ります。

色々な価値観に出会い「気づき」を得てほしい

戸山では探究活動と国際交流を連携させたプログラムも展開しています。これまでは希望者がフランスを訪れていました。事前にグ

ループ研究を行い、現地の研究機関や国際機関で、英語での研究成果発表にも挑戦しました。こうしたプログラムも次には新たなものが検討されており、オーストラリアが候補地にあげられています。現地の大学などで学ぶ予定です。「ほかにも中国や台湾、韓国の学校と交流を重ねていて、今後も継続します。2025年度のはじ

めにも、中国の学生たちが戸山に来てくれました。英語を流暢に話す彼らに刺激を受けつつ、本校の生徒たちは一生懸命に会話をし、すぐに打ち解けていました。

生徒たちは将来、他国の人も含め様々な人と協働して物事に取り組んでいかなければならないでしょう。そのときに求められるのは、相手のことを理解し尊重する心です。国際交流を通じて、色々な価値観に出会い、その過程でそれぞれの「気づき」を得てくれたらと思います」（石崎校長先生）

生徒の心に「志」を育てる 進路指導・キャリア教育

例年、国立公立大学に多くの合格者を輩出する戸山。そのなかでも医学部医学科の合格者が一定数いることが注目されます。その実績にひと役買っているのが、2016年度にスタートした「チーム・メディカル」です。

これは、国立公立大学医学部医学科への進学を希望する生徒が集

チーム・メディカル

病院実習では、エコー検査の機器を操作させてもらうなど、貴重な体験をします。



い、同じ目標のもと、切磋琢磨しながら学ぶものです。放課後などの時間を使って、チーム・メディカルとしてのプログラムに取り組みます。志望校合格に向けた学力を養うのはもちろんのこと、医学部や病院での体験研修、現役医師や医学研究者による講演会を通じて、医学部での学び、医師という職業について深く知る機会が用意

## 行事

行事では、生徒たちの主体性が発揮されます。本番までになにをすべきなのか、仲間と協力しながら試行錯誤することで、生徒たちは人間的に大きく成長していきます。



運動会：女子棒引き



新宿戸山対抗戦：ダンス部



新宿戸山対抗戦：バドミントン部



戸山祭（文化祭）：垂れ幕



クラスマッチ：アルティメット

されています。

日々の授業に加えたプラスアルファの活動となるため大変な面もありますが、例年20人以上の生徒が意欲を持って臨んでいるといいます。

「医学部に進学するためには高い学力が必要ですから、その学力を養成するのは大事なことです。しかし、生徒には医学部合格自体を目的としてほしくはありません。どうして医師になるのか、どんな医師になるのか、自分自身とじっくり向きあったうえで、使命感を持って歩んでほしいのです」（石崎校長先生）

このように、チーム・メディアカルは、進路指導とキャリア教育の両面を持つものです。医学部以外を志望する生徒に対する指導でも、「どのような道に進むとしても、『志』を持つことが大切」と石崎校長先生は話されます。

「大学に行ってなにを学ぶのか、大学卒業後はどんな職業に就きたいのか……将来に思いをめぐらせ

部活動

好きなことに打ち込みながら、行事と同様に総合的な人間力を磨く場ともなる部活動。30を超える部が活動しており、同好会もあります。



「学校生活では、生徒の主体性を尊重しています。ときに生徒同士の衝突が起きたり、失敗したりするかもしれませんが、仲間と力を合わせてそれを乗り越え、他者

を高めることにも力を入れる戸山では、行事や部活動も重視しています。教養を深めるとともに、人間性を豊かな人間性を養う

たうえで進路を決めてほしいですね。そのためには、各大学にどんな環境が用意されているのかを知らなければなりませんから、東京大学や東京科学大学、千葉大学などを訪れる大学訪問を実施しています。多様な選択肢のなかから、自分の希望する学びに適した環境を自身で選択することが重要でしょう。そうした生徒に寄り添い、

力強く歩んでいけるための学びが、将来に向けた「志」を持ち、戸山。そこでは、生徒1人ひとりが、自ら力を他者の幸せのために

どの教員に依頼するかなど、様々なことを話しあいながら決めていきます。学内だけでなく、学外の同年代と1つのものを作り上げていく経験は、生徒にとって大きな刺激となっていることは間違いないでしょう。

とのつながりのなかで、1人の人間として成長していつてもらえればと思います」と石崎校長先生は話されます。運動会や戸山祭（文化祭）をはじめとした多彩な行事のなかでも、硬式野球部やダンス部、水泳部などの各部が熱戦を繰り広げる、東京都立新宿高等学校との「新宿戸山対抗戦」が特徴的です。

■ 2025年3月 大学合格実績抜粋 ( )内は既卒

国立大学		私立大学	
大学名	合格者数	大学名	合格者数
北海道大	9 (2)	早稲田大	103 (16)
東北大	6 (1)	慶應義塾大	46 (5)
筑波大	7 (2)	上智大	58 (8)
お茶の水女子大	6 (2)	東京理科大	131 (19)
東京大	9 (1)	青山学院大	23 (2)
東京科学大	21 (1)	中央大	56 (15)
東京学芸大	7 (0)	法政大	60 (15)
一橋大	13 (0)	明治大	101 (20)
横浜国立大	15 (0)	立教大	57 (8)
京都大	3 (1)	学習院大	7 (2)
大阪大	4 (2)	東京医科大	1 (0)
福島県立医科大	1 (1)	日本医科大	2 (2)

写真提供：東京都立戸山高等学校 ※写真は過年度のものを含みます。

展開されています。「戸山には多様性を受け入れる土壌があり、生徒たちはそのうえに築かれた『自由』な校風に魅力を感じています。自分のしたいことを思いきりできる環境です。ただ、課題もたくさん出ますし、勉強は大変です(笑)。」

それぞれが輝ける場がある学校ですから、これから入学してくる方々にも、ぜひやりたいことを見つけて、それに打ち込む高校生活を送ってもらいたいです(石崎校長先生)